



学校教育目標

「明るく元気な活力ある福岡の子」

目ざす子ども像



深く考え学ぶ子



工夫して元気に活動する子



思いやりと感謝のもてる子



体をきたえ、ねばり強い子

本年度の重点努力目標

①日々の授業の充実を図り、個別最適な学びと協働的な学びにより「確かな学力」を育成します

- ・学ぶ楽しさを味わう問題解決的な授業づくり
- ・かかわり合いと「深めポイント」を明確に位置づけた授業の推進
- ・板書、発問、教材を工夫したわかる授業の推進
- ・タブレットの有効利用と指導の個別化、学習の個性化への取り組み
- ・高学年を中心とした教科担任制の積極的な取り組み

②命の尊さに対する意識の向上を図り互いを認め合う温かな学級・学年経営をします

- ・命の尊さや人権に対する意識を高めるための集会・道徳授業の工夫
- ・互いを認め合う態度を育てるための学級活動の工夫となかよし班活動(異年齢活動)の継続
- ・いじめや不登校等の諸問題への取り組みの充実(早期発見・早期対応、「子ども支援委員会」を核に組織的な対応、関係機関との連携)
- ・生徒指導を機能させた授業づくり
(自己肯定感・自己有用感の感得)

③家庭及び地域との連携・協働をすすめ、開かれた学校づくりに努めます

- ・コミュニティ・スクール(CS)導入に向けた地域との連携・協働の推進
- ・子どもの育ちを基軸に系統性を重視した小中一貫教育の推進
- ・150周年事業の財産を礎に、校区を愛し校区に誇りがもてる郷土学習の推進
- ・積極的かつ迅速正確な情報の発信と受信(学校HP・学校だより、学校評価活用の工夫)

④教育公務員としての自覚の醸成と信頼される教職員集団をつくります

- ・力量向上のための全員による授業公開とOJTを生かした現職研修の工夫
- ・不祥事撲滅に向けた研修の充実と風通しのよい職場環境づくり
- ・行事や教育活動のさらなる改善に向けたPDCAサイクル
- ・多忙化や多忙感解消のためのセルフマネジメント意識向上